

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理国語	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通・創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値の認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 精選 論理国語(東京書籍)</p> <p>副教材 新訂版 正しく読み・解くための 力をつける現代文ステップ3(数研出版)</p> <p>進研 WINSTEP 現代文2(ベネッセコーポレーション)</p> <p>評論・小説を読むための新現代文単語改訂版(いっぴく書店)</p> <p>文学国語セレクション(東京書籍)</p> <p>意味から学ぶ頻出漢字 3000(第一学習社)*継続使用</p> <p>プレミアムカラー国語便覧(数研出版)*継続使用</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	「ミロのヴィーナス」(清岡卓行) 「山月記」(中島敦)	定期考査など	定期考査など	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
2回	「メディアの変容」(土井隆義) 「檸檬」(梶井基次郎)	定期考査など	定期考査など	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
3回	「『環境』とは何か」(上柿崇英) 「鞆」(安部公房) 「永訣の朝」(宮澤賢治)	定期考査など	定期考査など	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
4回	「社会の壊れるときー知性的であるとはどういうことか」(鷲田清一) 「こころ」(夏目漱石)	定期考査など	定期考査など	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	「ミロのヴィーナス」(清岡卓行) ◆表現の特徴に注意して筆者の主張を的確に捉える。 ◆論理の展開を意識し、逆説的な筆者の主張を理解する。 ◆芸術の見方について考える。	10	
	5	「山月記」(中島敦) ◆登場人物の心情を表現に即して捉える。	10	
	6	◆「人間らしさ」とは何か考える。 ◆表現の特徴や作品の成立背景に注目する。		
	◆-----第1回考査			
	7	「メディアの変容」(土井隆義) ◆メディアがもたらす人間関係のあり方への影響について考える。	9	
	8	◆挙げられている事例と筆者の分析の関係に着目する。		
	9	「檸檬」(梶井基次郎) ◆「私」の心情を表現に即して捉える。 ◆「檸檬」の持つ意味について考える。 ◆表現の特徴や作品の成立背景に注目する。	7	
	◆-----第2回考査			
	後期	10	「『環境』とは何か」(上柿崇英) ◆「環世界」などの概念に注意しながら筆者の主張を理解する。 ◆文章の構造や展開のしかたの工夫に着目する。 ◆「環境」について新たな知見を得て理解を深める。	7
11		「鞆」(安部公房) ◆物語の寓話的意味を読み取る。 ◆「自由」「現代」とは何か考える。	4	
		「永訣の朝」(宮澤賢治) ◆表現された内容を読み取り、「わたくし」の妹に対する心情を解釈する。 ◆韻文の表現に親しむ。	3	
◆-----第3回考査				
12		「社会の壊れるとき—知性的であるとはどういうことか」(鷲田清一) ◆事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉える。 ◆知性の意義について自分の考えを深める。	10	
1				
2		「こころ」(夏目漱石) ◆人物の関係性と心情を的確に捉える。 ◆「人間の弱さ」について考える。 ◆表現の特徴や作品の成立背景から作品の文学的価値を確認する。	10	
◆-----第4回考査				

5 その他

○ 語彙の小テスト(漢字・単語)を毎週実施する。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	3単位
		学年等	2年生普通科普通・創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 古典探究 古文編 漢文編(大修館書店)</p> <p>副教材 進研 WINSTEP 古典2(ベネッセコーポレーション)</p> <p>錬成古文 大学入試共通テスト対策 新装二版(尚文出版)</p> <p>錬成漢文 大学入試共通テスト対策 新装二版(尚文出版)</p> <p>新版 古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート(数研出版)</p> <p>新版 古典文法習得のための敬語マスターノート(数研出版)</p> <p>短期集中シリーズ和歌(解釈・修辭・読解)(桐原書店)</p> <p>わかる・読める・解ける key & point 古文単語 330(いいずな書店)*継続使用</p> <p>古典文法習得のための助動詞マスターノート(数研出版)*継続使用</p> <p>基礎から解釈へ 漢文必携(桐原書店)*継続使用</p> <p>読解を大切にする 体系古典文法(数研出版)*継続使用</p> <p>プレミアムカラー国語便覧(数研出版)*継続使用</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	十訓抄「大江山いくのの道」 枕草子「中納言参りたまひて」 「二月つごもりごろに」 後漢書「糟糠之妻」 淮南子「塞翁馬」	定期考査など	定期考査など	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
2回	更級日記「門出」 源氏の五十余巻」 孟子「不忍人之心」 老子「大道廢、有仁義」 莊子「曳尾於塗中」 韓非子「侵官之害」	定期考査など	定期考査など	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
3回	源氏物語「光源氏の誕生」 「若紫との出会い」 史記「鴻門の会」	定期考査など	定期考査など	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
4回	史記「項王の最期」 大鏡「競べ弓」 「花山院の出家」 唐宋八家文読本「捕蛇者説」	定期考査など	定期考査など	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	説話 十訓抄「大江山いくのの道」	6	
	5	随筆 枕草子「中納言参りたまひて」「二月つごもりごろに」	15	
	6	故事・逸話 後漢書「糟糠之妻」 淮南子「塞翁馬」	9	
	第1回考査			
	7	日記 更級日記「門出」	6	
	8	「源氏の五十余巻」	6	
	9	思想 孟子「不忍人之心」 老子「大道廃、有仁義」 莊子「曳尾於塗中」 韓非子「侵官之害」	12	
第2回考査				
後期	10	物語 源氏物語「光源氏の誕生」「若紫との出会い」	11	
	11	史伝 史記「鴻門の会」	10	
	第3回考査			
	12	史伝 史記「項王の最期」	8	
	1	物語 大鏡「競べ弓」	6	
		「花山院の出家」	8	
	2	文章 十八史略「死せる諸葛 生ける仲達を走らす」	8	
第4回考査				

5 その他

○ 古文単語テスト(「わかる・読める・解ける key & point 古文単語 330」)・漢文基本小テスト(「基礎から解釈へ 漢文必携」)を毎週おこないます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理総合	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の地理総合(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院) 副教材 新編地理資料2026(東京法令出版) 問題集 ニューコンパスノート 地理 2026(東京法令出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付け、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深めている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	1部 地図や地理情報システムと現代世界 1章 地図や地理情報システムと現代世界 2章 結びつきを深める現代世界	定期考查等	定期考查等	授業中の行動観察 課題等の記述分析
	評価点			
2回	2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解	定期考查等	定期考查等	授業中の行動観察 課題等の記述分析
	評価点			
3回	2部 国際理解と国際協力 2章 地球的課題と国際協力	定期考查等	定期考查等	授業中の行動観察 課題等の記述分析
	評価点			
4回	3部 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 2章 生活圏の調査と地域の展望	定期考查等	定期考查等	授業中の行動観察 課題等の記述分析
	評価点			

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	1部 地図や地理情報システムと現代世界	12	
		1章 地図や地理情報システムと現代世界		
	5	1節 地球儀と地図	8	
		2節 地図と地理情報システム		
	6	2章 結びつきを深める現代世界	8	
		1節 現代世界の国家と領域		
		2節 地図から見る国内や国家間の結びつき		
			第1回考査	
			2部 国際理解と国際協力	
	7	1章 生活文化の多様性と国際理解	16	
1節 世界の地形と人々の生活				
8	2節 世界の気候と人々の生活	16		
	3節 世界の産業と人々の生活			
9	4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活	16		
	5節 多様な生活文化と地理的環境			
	①東アジア ②東南アジア			
	③インド ④中央アジア・西アジア・北アフリカ			
	⑤サハラ以南アフリカ ⑥ヨーロッパ			
	⑦ロシア ⑧アメリカ合衆国			
	⑨ラテンアメリカ ⑩オセアニア			
		第2回考査		
後期	10	2部 国際理解と国際協力	14	
		2章 地球的課題と国際協力		
	11	1節 人口問題	14	
		2節 食料問題		
	11	3節 都市・居住問題	14	
		4節 感染症・衛生問題		
	11	5節 資源・エネルギー問題	14	
		6節 地球環境問題		
			第3回考査	
			3部 持続可能な地域づくりと私たち	
12	1章 自然環境と防災	18		
	1節 日本の自然環境			
1	2節 地震・津波や火山活動による災害と防災	18		
	3節 気象災害と防災			
2	4節 自然災害への備え	18		
	2章 生活圏の調査と地域の展望			
		第4回考査		

5 その他

- 図表や地図などから様々な情報を読み取る技能、それらの背景を考察する力、考察したことを生活に役立てる力を育成します。
- 授業プリントには、板書事項を書き写すだけでなく、必要な情報を書き込んでください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	歴史総合	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 わたしたちの歴史 日本から世界へ(山川出版社)</p> <p>副教材 問いからはじまる歴史総合(東京法令出版)</p> <p>わたしたちの歴史 日本から世界へ ノート(山川出版社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	[歴史の扉] [第1部 近代化と私たち] 1～8	定期考査等	定期考査等	・授業中の行動観察 ・プリントの記述分析
	評価点	50点	50点	50点
2回	[第1部 近代化と私たち] 9～14 [第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち] 1～8	定期考査等	定期考査等	・授業中の行動観察 ・プリントの記述分析
	評価点	50点	50点	50点
3回	[第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち] 9～18	定期考査等	定期考査等	・授業中の行動観察 ・プリントの記述分析
	評価点	50点	50点	50点
4回	[第3部 グローバル化と私たち] ●今の私たちにつながる課題	定期考査等	定期考査等	・授業中の行動観察 ・プリントの記述分析
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	[歴史の扉] 1 歴史と私たち 2 歴史と資料	2	
	5	[第1部 近代化と私たち] 1 18世紀の世界とアジア 2 産業革命 3 アヘン戦争と日本 4 日本の開国	25	
		6		5 日本開国期の国際情勢 6 開国後の日本社会 7 市民革命と国民統合 8 明治維新
				第1回考査
		7		9 富国強兵と文明開化 10 日本の明治初期の外交 11 大日本帝国憲法の制定 12 日本の産業革命と日清戦争 13 帝国主義
	8	14 日露戦争と韓国併合 [第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち] 1 大衆運動の芽ばえ 2 第一次世界大戦		
		9	3 第一次世界大戦と日本 4 ロシア革命とその影響 5 社会運動の広がり 6 国際協調 7 アジアの民族運動 8 大量生産・大量消費社会	
	第2回考査			
	後期	10	9 世界恐慌 10 独裁勢力の台頭 11 日本のアジア侵出 12 第二次世界大戦 13 第二次世界大戦と日本	15
		11	14 第二次世界大戦の終結 15 戦後国際秩序 16 冷戦の始まり 17 日本の戦後改革と日本国憲法 18 日本の独立	
第3回考査				
12			[第3部 グローバル化と私たち] 1 第三世界の登場 2 冷戦の固定化と「雪どけ」 3 冷戦の展開	
1			4 55年体制と安保闘争 5 高度経済成長の光と影 6 ベトナム戦争とアメリカ 7 経済構造の変化	
2		8 日本の経済大国化 9 アジアの経済成長 10 社会主義の停滞と新自由主義	2	
3		11 冷戦の終結 12 冷戦後の地域紛争 13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題		
		第4回考査		
●今の私たちにつながる課題				

5 その他

- 様々な資料(歴史史料、グラフ、絵画など)から情報を取得し、多面的・多角的に考察する力を育成します。
- 単元を学習していく中で、概念的な問いに対して多角的に考察し、自分の言葉で表現できるようになりましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	世界史探究	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 新詳世界史探究(帝国書院)</p> <p>副教材 最新世界史図説タペストリー(帝国書院)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想し、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究し、国家及び社会の形成者として、課題を追究、解決しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	1部 世界史へのまなざし 2部 諸地域の歴史的特質の形成	定期考查等	定期考查等	授業中の行動観察 プリントの記述分析
	評価点	50点	50点	50点
2回	3部 諸地域の交流・再編	定期考查等	定期考查等	授業中の行動観察 プリントの記述分析
	評価点	50点	50点	50点
3回	4部 諸地域の結合・変容	定期考查等	定期考查等	授業中の行動観察 プリントの記述分析
	評価点	50点	50点	50点
4回	5部 地球世界の課題	定期考查等	定期考查等	授業中の行動観察 プリントの記述分析
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	1部 世界史へのまなざし	20
		2部 諸地域の歴史的特質の形成	
	5	序章 古代文明の歴史的特質	
		1章 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	第1回考査
	6	2章 南アジアと東南アジアの歴史的特質	
		3章 西アジアと地中海の歴史的特質	
	7	◆	16
		3部 諸地域の交流・再編	
		1章 ユーラシア大交流圏の成立	
8	2章 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出		
9	3章 主権国家体制の成立と交易の拡大		
	◆	第2回考査	
後期	10	4部 諸地域の結合・変容	14
		1章 環太平洋革命～工業文明と国民国家の誕生	
		2章 イギリスの覇権と欧米の国民国家形成	
		3章 世界の一体化の進展とアジアの変容	第3回考査
	11	4章 世界の一体化の完成とその影響	
		5章 世界大戦の時代	
		◆	20
	12	6章 戦後の国際秩序と冷戦	
		5部 地球世界の課題	
	1	1章 冷戦の展開と平和の模索	
	2章 グローバル化する国際経済とその課題		
2	3章 情報と科学技術によって結びつく世界		
	4章 地球世界の課題の探究		
	◆	第4回考査	

5 その他

- 様々な資料(歴史史料、グラフ、絵画など)から情報を取得し、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、課題解決を視野に入れて構想する力を育成します。
- 単元ごとに、問いに対する答えを自分の言葉で表現します。歴史の学習によって獲得したいものは、特定の人物名、事象名に終始した知識ではありません。単元を学習していく中で、概念的な問いに対して多角的に考察し、自分の言葉で表現できるようになりましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本史探究	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能をみに付けるようにする。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 詳説日本史(山川出版社)</p> <p>副教材 新詳日本史(浜島書店)</p> <p>ウィニングコンパス日本史の整理と演習(東京法令出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目しながら、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第1部 原始・古代〕 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
2回	〔第2部 中世〕 第5章 院政と武士の躍進 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長 〔第3部 近世〕 第8章 近世の幕開け	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
3回	第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 〔第4部 近代・現代〕 第11章 近世から近代へ	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
4回	第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
	4	〔第1部 原始・古代〕 第1章 日本文化のあけぼの 1節 文化の始まり 2節 農耕社会の成立 第2章 古墳とヤマト政権 1節 古墳文化の展開 2節 飛鳥の朝廷	3 3

前期	5	第3章 律令国家の形成 1節 律令国家への道	9
	6	2節 平城京の時代 3節 律令国家の文化 4節 律令国家の変容	
		第4章 貴族政治の展開 1節 摂関政治 2節 国風文化	4
	7	3節 地方政治の展開と武士 〔第2部 中世〕	
		第5章 院政と武士の躍進 1節 院政の始まり 2節 院政と平氏政権	3
	8	第6章 武家政権の成立 1節 鎌倉幕府の成立 2節 武士の社会	
	9	3節 モンゴルの襲来と幕府の衰退 4節 鎌倉文化	5
		第7章 武家社会の成長 1節 室町幕府の成立 2節 幕府の衰退と庶民の台頭 3節 室町文化 4節 戦国大名の登場	
		〔第3部 近世〕 第8章 近世の幕開け 1節 織豊政権 2節 桃山文化	3
後期	10	第9章 幕藩体制の成立と展開 1節 幕藩体制の成立 2節 幕藩社会の構造 3節 幕政の安定 4節 経済の発展 5節 元禄文化	7
	11	第10章 幕藩体制の動揺 1節 幕政の改革 2節 宝暦・天明期の文化 3節 幕府の衰退と近代への道 4節 化政文化	
		〔第4部 近代・現代〕 第11章 近世から近代へ 1節 開国と幕末の動乱 2節 幕府の滅亡と新政府の発足	3
	12	第12章 近代国家の成立 1節 明治維新と富国強兵 2節 立憲国家の成立	
		第13章 近代国家の展開 1節 日清・日露戦争と国際関係 2節 第一次世界大戦と日本 3節 ワシントン体制	4
	1	第14章 近代の産業と生活 1節 近代産業の発展 2節 近代文化の発達 3節 市民生活の変容と大衆文化	
	2	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1節 恐慌の時代 2節 軍部の台頭 3節 第二次世界大戦	4
		第16章 占領下の日本 1節 占領と改革 2節 冷戦の開始と講和	
		第17章 高度成長の時代 1節 55年体制	2
	3	2節 経済復興から高度経済成長へ 第18章 激動する世界と日本 1節 経済大国への道 2節 冷戦の終結と日本社会の変容	
			第4回考査

5 その他

- 様々な資料から多面的・多角的に考察するとともに、課題解決を視野に入れて構想する力を育成します。
- 授業ノートなどの定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	公共	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通・創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校 改訂版 公共(第一学習社)</p> <p>副教材 最新公共資料集 2026(第一学習社)</p> <p>副教材 改訂版 公共ノート(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	<p>〔第1編 公共の扉〕</p> <p>第1章 公共的な空間をつくる私たち</p> <p>第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方</p> <p>第3章 公共的な空間における基本的原理</p> <p>〔第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち〕</p> <p>第1章 法的な主体となる私たち</p>	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
2回	<p>第2章 政治的な主体となる私たち</p> <p>(主題7 国際社会の変化と日本の役割 まで)</p>	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
3回	<p>第3章 経済的な主体となる私たち</p> <p>(主題11 金融のはたらき まで)</p>	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
4回	<p>第3章 経済的な主体となる私たち</p> <p>(主題13 経済のグローバル化 まで)</p> <p>〔第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち〕</p>	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第1編 公共の扉〕 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理 〔第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち〕 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任 主題3 司法参加の意義 第1回考査	20
		〔第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち〕 第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論の形成 主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛 主題7 国際社会の変化と日本の役割 第2回考査	16
後期	10	〔第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち〕 第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観 主題10 市場経済の機能と限界 主題11 金融のはたらき 第3回考査	14
		〔第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち〕 第3章 経済的な主体となる私たち 主題12 財政の役割と社会保障 主題13 経済のグローバル化 〔第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち〕 第4回考査	20

5 その他

- 様々な資料から多面的・多角的に考察するとともに、課題解決を視野に入れて構想する力を育成する。
- 夏季休業中等に課題を課す。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ	単位数	1単位
		学年等	2年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを旨とする。</p> <p>(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考え方についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 数学Ⅱ(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C[ベクトル](数研出版)</p> <p>新課程教科書傍用サクシード数学Ⅱ+B+C[数列、統計的な推測、ベクトル](数研出版)</p> <p>キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C[ベクトル]受験編</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	指数関数・対数関数、及び微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察できる。関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりできる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価点	50点	50点	50点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第5章〕 指数関数と対数関数 〔第6章〕 微分法と積分法	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	50点	50点	50点
2回				
	評価点	点	点	点
3回				
	評価点	点	点	点
4回				
	評価点	点	点	点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第5章〕 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	35
	5	〔第6章〕 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	
	6	第2節 導関数の応用 第3節 積分法 ◆-----第1回考査	
後期	11	◆-----第3回考査	
	12		
	1	◆-----第4回考査	
	2		
	3		

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとめりに、基礎力テストを行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ	単位数	1単位
		学年等	2年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを旨とする。</p> <p>(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考え方についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 数学Ⅱ(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C[ベクトル](数研出版)</p> <p>新課程教科書傍用サクシード数学Ⅱ+B+C[数列、統計的な推測、ベクトル](数研出版)</p> <p>キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C[ベクトル]受験編</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	指数関数・対数関数、及び微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察できる。関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりできる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第5章〕 指数関数と対数関数 〔第6章〕 微分法と積分法	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	200点	200点	200点
2回				
	評価点	点	点	点
3回				
	評価点	点	点	点
4回				
	評価点	点	点	点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第5章〕 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	10
	5	第2節 対数関数 〔第6章〕 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	25
	6	第2節 導関数の応用 第3節 積分法	
		◆----- 第1回考査	
		第2回考査 ◆-----	
	後期	10	第3回考査
11		◆-----	
12		第4回考査	
1		◆-----	
2			
3			

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとまりごとに、基礎力テストを行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅲ	単位数	1 単位
		学年等	2年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 数学Ⅲ(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅲ+C(数研出版)</p> <p>新課程教科書傍用サクシード数学Ⅲ+C(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察できる。関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察できる。いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりできる。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしている。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回				
	評価点	点	点	点
2回				
	評価点	点	点	点
3回				
	評価点	点	点	点
4回	〔第1章〕関数 〔第2章〕極限 〔第3章〕微分法 〔第4章〕微分法の応用	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	200 点	200 点	200 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期		◆-----第1回考査	
		◆-----第2回考査	
後期	10	◆-----第3回考査	
	12	〔第1章〕関数	8
	1	〔第2章〕極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限	9
		〔第3章〕微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数	9
	2	〔第4章〕微分法の応用 第1節 導関数の応用 第2節 速度と近似式	9
	◆-----第4回考査		

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとめりに、基礎力テストを行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学 B	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 数学 B(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C[ベクトル](数研出版)</p> <p>新課程教科書傍用サクシード数学Ⅱ+B+C[数列、統計的な推測、ベクトル](数研出版)</p> <p>キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C[ベクトル]受験編</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察できる。確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりできる。日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりできる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回				
	評価点	点	点	点
2回	〔第1章〕数列 第1節 数列とその和 第2節 数学的帰納法	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	50点	50点	50点
3回	〔第2章〕統計的な推測 第1節 確率分布	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	25点	25点	25点
4回	第2節 統計的な推測	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	25点	25点	25点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	<div style="text-align: right;">第1回考査</div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> ◆	5	
	5			
	6			
	7		〔第1章〕 数列	40
	8		第1節 数列とその和	
	9		第2節 数学的帰納法	
		◆	第2回考査	
後期	11	〔第2章〕 統計的な推測	10	
	12	第1節 確率分布		
			◆	第3回考査
	1	第2節 統計的な推測	15	
		◆	第4回考査	

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとまりごとに、基礎力テストを行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学 B	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布などの性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の結果などを批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 数学 B(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C[ベクトル](数研出版) 新課程教科書傍用サクシード数学Ⅱ+B+C[数列、統計的な推測、ベクトル](数研出版) キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C[ベクトル]受験編</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察できる。確率分布などの性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の結果などを批判的に考察したりできる。日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりできる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回				
	評価点	点	点	点
2回	〔第1章〕 数列 第1節 数列とその和 第2節 数学的帰納法	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	60点	60点	60点
3回	〔第2章〕 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	40点	40点	40点
4回				
	評価点	点	点	点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4		5
	6	◆-----第1回考査	40
	7	〔第1章〕 数列 第1節 数列とその和 第2節 数学的帰納法 ◆-----第2回考査	
後期	11	〔第2章〕 統計的な推測 第1節 確率分布	10
	12	第2節 統計的な推測 ◆-----第3回考査	15
		◆-----第4回考査	

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとまりごとに、基礎力テストを行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学 C	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 数学 C(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅱ+B+C[ベクトル](数研出版)</p> <p>新課程教科書傍用サクシード数学Ⅱ+B+C[数列、統計的な推測、ベクトル](数研出版)</p> <p>キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C[ベクトル]受験編</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察できる。図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察できる。数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回				
	評価点	点	点	点
2回				
	評価点	点	点	点
3回	〔第1章〕 平面上のベクトル 〔第2章〕 空間のベクトル	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	200点	200点	200点
4回				
	評価点	点	点	点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	5		
	6	◆-----第1回考査	
	7		
	8	◆-----第2回考査	
後期	9	〔第1章〕 平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	40
	10	〔第2章〕 空間のベクトル	30
		◆-----第3回考査	
		◆-----第4回考査	

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとまりごとに、基礎力テストを行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学 C	単位数	1 単位
		学年等	2年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 数学 C(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅲ+C(数研出版) 新課程教科書傍用サクシード数学Ⅲ+C(数研出版) キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C[ベクトル]受験編</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察できる。図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察できる。数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価点	100 点	100 点	100 点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回				
	評価点	点	点	点
2回	〔第1章〕平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形 〔第2章〕空間のベクトル	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	50 点	50 点	50 点
3回	〔第3章〕複素数平面 〔第4章〕式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	50 点	50 点	50 点
4回				
	評価点	点	点	点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	5		20
	6	◆-----第1回考査	
	8	〔第1章〕 平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	
	9	〔第2章〕 空間のベクトル	
		◆-----第2回考査	
後期	10	〔第3章〕 複素数平面 〔第4章〕 式と曲線	15
	11	第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	
		◆-----第3回考査	
		◆-----第4回考査	

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとまりごとに、基礎力テストを行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学 A	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	教科書 高等学校 数学 A(数研出版) 副教材 新課程教科書傍用 基本と演習テーマ数学 A

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の性質を見だし、論理的に考察することができる。確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。事象に数学の構造を見だし数理的に考察することができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画 (1回, および2回で実施)

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第1章〕 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	50点	50点	50点
2回	〔第2章〕 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	50点	50点	50点
3回				
	評価点	点	点	点
4回				
	評価点	点	点	点

4 指導の計画（1回, および2回で実施）

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第1章〕 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率	20
	7		
	8	〔第2章〕 図形の性質 第1節 平面図形 第2章 空間図形	15
	9		
後期	10	第3回考査	
		第4回考査	

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとめごとに、基礎力テストを行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学演習 α	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>既習事項の内容について、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を発展的に身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考察する力、ある事象に着目し、既習の性質などに基づいて判断する力、事象を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、数学の構造を見だし、数理的に考察する発展的な力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校 数学 I (数研出版) 高等学校 数学 A(数研出版)</p> <p>副教材 大学入学共通テスト準備 思考力・判断力・表現力を磨く数学 I + A(数研出版)</p> <p>自校作成プリント</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を発展的に身に付けている。	論理的に考察する力、ある事象に着目し、既習の性質などに基づいて判断する力、事象を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、数学の構造を見だし、数理的に考察する発展的な力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を身に付けている。
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画 (3回, および4回で実施)

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回				
	評価点	点	点	点
2回				
	評価点	点	点	点
3回	数学 I : 数と式 2次関数	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・確認テスト等
	評価点	50点	50点	50点
4回	数学 I : 図形と計量 データの分析 数学 A : 場合の数と確率 図形の性質	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・確認テスト等
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画（3回, および4回で実施）

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	◆-----第1回考査	
		◆-----第2回考査	
後期	10	〔数学 I〕数と式の演習	12
	11	〔数学 I〕2次関数の演習	16
		◆-----第3回考査	1
		〔数学 I〕図形と計量の演習	8
	12	〔数学 I〕データの分析の演習	4
	1	〔数学 A〕場合の数と確率の演習	12
	2	〔数学 A〕図形の性質の演習	16
3	◆-----第4回考査	1	

5 その他

○ 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>「物理基礎」との関連を図りながら、物理的な事物・現象を更に深く取り扱い、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	教科書 高等学校 物理 (第一学習社) 副教材 セミナー物理基礎+物理(第一学習社) 物理のエッセンス【力学・波動】-五訂版-

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	第Ⅱ章波動 第1節 波の性質 第2節 音波	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
2回	第3節 光波 光の性質 レンズと鏡	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
3回	第3節 光波 光の回折と干渉	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
4回	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第2節 剛体のつりあい 第3節 運動量の保存	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第Ⅱ章 波動 第1節 波の性質	20
	5	正弦波 ② 波の伝わり方 第2節 音波	
	6	音の伝わり方 ② ドップラー効果 第1回考査	
	7	◆ 第3節 光波 光の性質 ② レンズと鏡	16
	8		
	9	◆ 第2回考査	
後期	10	③ 光の回折と干渉	14
	11	第3回考査	
	12	◆ 第Ⅰ章 運動とエネルギー	
	1	第2節 剛体のつりあい	20
	2	① 剛体にはたらく力とその合力 ② 剛体の重心とつりあい	
	3	第3節 運動量の保存 ① 運動量と力積 ② 運動量保存の法則 ③ 反発係数 第4回考査	

5 その他

- 観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校化学基礎改訂版(啓林館)</p> <p>副教材 2026 セミナー化学基礎(第一学習社) 改訂版フォトサイエンス化学図録(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第1部 物質の構成〕 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 化学結合	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
2回	〔第2部 物質の変化〕 第1章 物質と化学反応式	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・実験ワークシート
	評価点	50点	50点	50点
3回	第2章 酸と塩基	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・実験ワークシート
	評価点	50点	50点	50点
4回	第3章 酸化還元反応 第4章 化学が拓く世界	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・実験ワークシート
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	〔第1部 物質の構成〕 第1章 物質の構成 第1節 純物質と混合物 第2節 物質とその成分 第3節 粒子の熱運動と物質の三態	3	
	5	第2章 物質の構成粒子 第1節 原子の構造と電子配置 第2節 イオン 第3節 元素の周期表	5	
		6	第3章 化学結合 第1節 イオン結合 第2節 共有結合 第3節 金属結合 第4節 物質の分類と融点	12
				第1回考査
		〔第2部 物質の変化〕 第1章 物質と化学反応式	16	
	7	第1節 原子量・分子量・式量		
	8	第2節 物質量(mol)		
	9	第3節 化学反応式と化学変化の量的関係 探究活動 化学変化の量的関係	第2回考査	
	後期	10	第2章 酸と塩基 第1節 酸と塩基 第2節 水の電離とpH	14
11		第3節 酸・塩基の中和と塩 探究活動 中和滴定	第3回考査	
		第3章 酸化還元反応	19	
12		第1節 酸化と還元		
1		第2節 酸化剤と還元剤 探究活動 酸化剤と還元剤の反応		
2		第3節 金属の酸化還元反応 探究活動 金属のイオン化傾向 第4節 酸化還元反応の利用 探究活動 電池	1	
	第4章 化学が拓く世界	第4回考査		

5 その他

- 第2部では観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校化学基礎改訂版(啓林館)</p> <p>副教材 2026 セミナー化学基礎+化学(第一学習社) 改訂版フォトサイエンス化学図録(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	<p>[第1部 物質の構成]</p> <p>第1章 物質の構成</p> <p>第2章 物質の構成粒子</p> <p>第3章 化学結合</p> <p>[第2部 物質の変化]</p> <p>第1章 物質質量と化学反応式</p>	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
2回	<p>第2章 酸と塩基</p> <p>第3章 酸化還元反応</p> <p>第4章 化学が拓く世界</p>	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・実験ワークシート
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第1部 物質の構成〕 第1章 物質の構成 第1節 純物質と混合物 第2節 物質とその成分 第3節 粒子の熱運動と物質の三態	3
		第2章 物質の構成粒子 第1節 原子の構造と電子配置 第2節 イオン	6
	5	第3節 元素の周期表 第3章 化学結合 第1節 イオン結合 第2節 共有結合	13
	6	第3節 金属結合 第4節 物質の分類と融点 〔第2部 物質の変化〕 第1章 物質質量と化学反応式 第1節 原子量・分子量・式量 第2節 物質質量(mol) 第3節 化学反応式と化学変化の量的関係	18
		探究活動 化学変化の量的関係	
		第1回考査	
		◆----- 第2章 酸と塩基 第1節 酸と塩基 第2節 水の電離とpH 第3節 酸・塩基の中和と塩	16
		探究活動 中和滴定	
		第3章 酸化還元反応 第1節 酸化と還元 第2節 酸化剤と還元剤 第3節 金属の酸化還元反応 第4節 酸化還元反応の利用	16
		探究活動 酸化剤と還元剤の反応 探究活動 金属のイオン化傾向 探究活動 電池	
	◆----- 第2回考査		

その他

- 前期のみで終了します。
- 第2部では観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校化学(啓林館)</p> <p>副教材 2026 セミナー化学基礎+化学(第一学習社) 改訂版フォトサイエンス化学図録(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3回	<p>〔第2部 物質の変化と平衡〕</p> <p>第2章 化学反応と電気エネルギー</p> <p>第1章 化学反応と熱・光エネルギー</p> <p>〔第1部 物質の状態〕</p> <p>第1章 固体の構造</p> <p>第2章 物質の状態変化</p> <p>第3章 気体の性質</p> <p>第4章 液体の性質</p>	・定期考査等	・定期考査等	<p>・授業中の行動観察</p> <p>・学習課題</p> <p>・実験ワークシート</p>
	評価点	50点	50点	50点
4回	<p>〔第3部 無機物質〕</p> <p>第1章 周期表と元素の分類</p> <p>第2章 非金属元素</p> <p>第3章 典型金属元素</p> <p>第4章 遷移元素</p>	・定期考査等	・定期考査等	<p>・授業中の行動観察</p> <p>・学習課題</p> <p>・実験ワークシート</p>
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
後期	10	[第2部 物質の変化と平衡] 第2章 化学反応と電気エネルギー 第1節 電池 第2節 電気分解	5
		第1章 化学反応と熱・光エネルギー 第1節 反応熱とエンタルピー 第2節 ヘスの法則 第3節 化学反応と光	5
		[第1部 物質の状態] 第1章 固体の構造 第1節 化学結合と結晶 第2節 結晶の構造 第3節 アモルファス(非晶質)	2
	11	第2章 物質の状態変化 第1節 状態変化 第2節 気液平衡と蒸気圧	2
		第3章 気体の性質 第1節 気体の体積の変化 第2節 気体の状態方程式	7
		第4章 溶液の性質 第1節 溶解と溶解度 第2節 希薄溶液の性質 第3節 コロイド	7
		探究活動 コロイドの性質	
		第3回考査	
		[第3部 無機物質] 第1章 周期表と元素の分類 第1節 周期表と元素の分類	2
	第2章 非金属元素 第1節 水素と貴ガス 第2節 ハロゲン 第3節 酸素・硫黄 第4節 窒素・リン 第5節 炭素・ケイ素	15	
	第3章 典型金属元素 第1節 アルカリ金属 第2節 アルカリ土類金属 第3節 アルミニウム 第4節 スズ・鉛	10	
	第3章 遷移元素 第1節 遷移元素 第2節 金属イオンの分離と確認	13	
	第4回考査		

その他

- 後期から始まります。
- 観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校生物(第一学習社)</p> <p>副教材 セミナー生物基礎+生物(第一学習社)</p> <p>スクエア最新図説生物(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第1章 生物の進化〕 第1節 生命の起源と細胞の進化 第2節 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化 第3節 進化のしくみ	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
2回	〔第2章 生物の系統と進化〕 第1節 生物の系統 第2節 人類の系統と進化	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
3回	〔第3章 細胞と分子〕 第1節 生体物質と細胞 第2節 タンパク質の構造と性質 第3節 生命現象とタンパク質	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
4回	〔第4章 代謝〕 第1節 代謝とエネルギー 第2節 炭酸同化 第3節 異化	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	[第1編] 生物の進化と系統 第1章 生物の進化	20	
	5	第1節 生命の起源と細胞の進化		
	6	第2節 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化		
		第3節 進化のしくみ		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実験 モデル実験を行って遺伝子頻度の変化について考えよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実験 はじめの集団の大きさと遺伝子頻度の変化について考えよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実験 生存に不利なアレルの遺伝子頻度の変化について考えよう</div> <p style="text-align: right;">第1回考査</p>		
	7	第2章 生物の系統と進化		16
	8	第1節 生物の系統		
	9	第2節 人類の系統と進化		
			第2回考査	
後期	10	[第2編] 生命現象と物質 第3章 細胞と分子	14	
	11	第1節 生体物質と細胞		
	12	第2節 タンパク質の構造と性質		
		第3節 生命現象とタンパク質		
			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実験 酵素カタラーゼの働き</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実験 外的条件がカタラーゼに与える影響について考えよう</div> <p style="text-align: right;">第3回考査</p>	
	12	第4章 代謝	20	
		第1節 代謝とエネルギー		
		第2節 炭酸同化		
				<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実験 緑葉に含まれる色素</div>
		1		第3節 異化
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実験 脱水素酵素による酸化還元反応の確認</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実験 アルコール発酵</div> <p style="text-align: right;">第4回考査</p>			

5 その他

- 観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地学基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との連携を図りながら、地球や地球をとりまく環境についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを通じて、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校 地学基礎 改訂版(啓林館)</p> <p>副教材 2026 セミナー地学基礎(第一学習社) 改訂版 リードLight ノート地学基礎(数研出版) 新課程 二訂版 スクエア最新図録地学(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考察したり、分析したりすることにより問題を解決し、総合的・科学的に判断し、それを表現することができる。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的・意欲的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を身に付け、地学に対する興味・関心を高めている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第1部 地球の構造とその活動〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
2回	〔第2部 大気と海洋〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
3回	〔第3部 移り変わる地球〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
4回	〔第4部 自然との共生〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	[第1部] 地球の構造とその活動	12	
	5	第1章 地球の構造		
	6	第1節 地球の概観 第2節 地球内部の構造		
			第2章 活動する地球	8
			第1節 プレートテクトニクスと地球の活動	
			第2節 地震 第3節 火山活動	
			第1回考査	
	6	[第2部] 大気と海洋	6	
		第1章 大気の構造		
7	第1節 大気圏 第2節 対流圏における水と気象	6		
8	第2章 太陽放射と大気・海水の運動			
9	第1節 地球のエネルギー収支 第2節 大気の大循環 第3節 海水の循環			
	第3章 日本の天気	4		
	第1節 日本の気象に変化をもたらす要因			
	第2節 冬の天気 第3節 春の天気			
	第4節 夏の天気 第5節 秋の天気			
	第2回考査			
後期	10	[第3部] 移り変わる地球	7	
		第1章 宇宙と地球		
		第1節 宇宙の誕生 第2節 太陽系の誕生	7	
	11	第2章 地球史の読み方		
		第1節 地層の形成 第2節 地層の読み方 第3節 地質年代の区分		
			第3回考査	
		第3章 地球と生命の進化	6	
1	第1節 先カンブリア時代 第2節 顕生代			
	[第4部] 自然との共生	14		
	第1節 地球環境と私たち			
2	第2節 地震災害・火山災害 第3節 気象災害 第4節 災害と社会 第5節 地球環境の変化			
	第4回考査			

5 その他

- 観察や実験などによる探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地学基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を育成することを目指す。</p> <p>(2) 日常生活や社会との連携を図りながら、地球や地球をとりまく環境についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを通じて、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校 地学基礎 改訂版 (啓林館)</p> <p>副教材 2026 セミナー地学基礎(第一学習社) 改訂版 リード Light ノート地学基礎(数研出版)</p> <p>新課程 二訂版 スクエア最新図録地学(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考察したり、分析したりすることにより問題を解決し、総合的・科学的に判断し、それを表現することができる。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的・意欲的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を身に付け、地学に対する興味・関心を高めている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第1部 地球の構造とその活動〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
2回	〔第2部 大気と海洋〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
3回	〔第3部 移り変わる地球〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
4回	〔第4部 自然との共生〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	[第1部] 地球の構造とその活動	12	
	5	第1章 地球の構造		
	6	第1節 地球の概観 第2節 地球内部の構造		
			第2章 活動する地球	8
			第1節 プレートテクトニクスと地球の活動	
			第2節 地震 第3節 火山活動	
			第1回考査	
	6	[第2部] 大気と海洋	6	
		第1章 大気の構造		
	第1節 大気圏	6		
7	第2節 対流圏における水と気象			
	第2章 太陽放射と大気・海水の運動			
	第1節 地球のエネルギー収支	4		
8	第2節 大気の大循環			
	第3節 海水の循環			
9	第3章 日本の天気	4		
	第1節 日本の気象に変化をもたらす要因			
	第2節 冬の天気 第3節 春の天気			
	第4節 夏の天気 第5節 秋の天気			
	第2回考査			
後期	10	[第3部] 移り変わる地球	7	
		第1章 宇宙と地球		
		第1節 宇宙の誕生	7	
		第2節 太陽系の誕生		
	11	第2章 地球史の読み方		
		第1節 地層の形成	6	
		第2節 地層の読み方		
	第3節 地質年代の区分			
		第3回考査		
	第3章 地球と生命の進化	6		
1	第1節 先カンブリア時代 第2節 顕生代			
	[第4部] 自然との共生	14		
	第1節 地球環境と私たち			
	第2節 地震災害・火山災害			
	第3節 気象災害			
	第4節 災害と社会			
2	第5節 地球環境の変化	第4回考査		

5 その他

- 観察や実験などによる探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健体育 体育	単位数	3 単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や 仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	本校体育実技用ファイル ステップアップ高校スポーツ(大修館) 現代高等保健体育 (大修館)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けている。
評価点	400 点	400 点	400 点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	オリエンテーション 体づくり運動 選択Ⅰ 陸上競技, 器械運動, 水泳, ダンス, 球技から 選択	スキルテスト ルールテスト	ファイルの記述分析 授業中の行動観察	授業への参加状況 授業中の行動観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
2回	体育理論 選択Ⅱ ダンス	小テスト3回 スキルテスト ルールテスト等	ファイルの記述分析 授業中の行動観察	授業への参加状況 授業中の行動観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
3回	選択Ⅲ 球技, 武道から選択	スキルテスト ルールテスト等	ファイルの記述分析 授業中の行動観察	授業への参加状況 授業中の行動観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
4回	体育理論 陸上競技 選択Ⅳ レクリエーションスポーツ	小テスト3回 スキルテスト ルールテスト等	ファイルの記述分析 授業中の行動観察	授業への参加状況 授業中の行動観察
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	オリエンテーション 体づくり運動(集団行動, トレーニング, ラジオ体操等)	6
	5	選択Ⅰ 陸上競技, 器械運動, 水泳, ダンス, 球技から選択	24
	6		
			第1回考査
	7	◆ 選択Ⅱ ダンス 体育理論 運動・スポーツの学び方	21
	8	「スポーツにおける技術と戦術・戦略」「スポーツにおける技能と体力」 「技能の上達過程と練習の考え方」	3
	9	体づくり運動 ダンス	
			◆ 第2回考査
	後期	10	選択Ⅲ 体づくり運動
11		球技, 武道から選択	
12		◆ 体育理論 運動・スポーツの学び方 「効果的な動きのメカニズム」「体カトレーニング」「運動やスポーツでの危険予知と安全確保」	3
			第3回考査
1		陸上競技	15
2		選択Ⅳ レクリエーションスポーツ	12
3		◆ 第4回考査	

5 その他

- ・各種目の積極的な参加と運動の特性を理解し, 自ら考え, 工夫して取り組み, ゲームなどを楽しめるようになってほしい。
- ・自分の体力を知り, 自己の体力の向上に何が必要か課題意識を持ち, 具体的な目標設定ができるようになってほしい。
- ・運動技能の習得だけでなく, 準備や後片付けなど協力共同の場面で積極的に行動してほしい。
- ・安全に配慮し, 互いが協力しながら楽しく授業に参加してほしい。
- ・授業を休まない。また, 見学をするときは, 授業担当者に事前に申し出て, 見学ノートを提出する。
- ・体操服を忘れない。また, 体操服をきちんと着用する。
- ・授業開始時間を守る。(着替えを迅速にする。)

年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健体育 保健	単位数	1 単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育(大修館) 現代高等保健体育ノート(大修館) ステップアップ高校スポーツ(大修館)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。	生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している	生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。
評価点	400 点	400 点	400 点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1回	3単元 生涯を通じる健康 ライフステージと健康 性意識と性行動の選択 避妊法と人工妊娠中絶	思春期と健康 妊娠・出産と健康	・定期考査 ・授業中の行動観察	・定期考査 ・授業中の行動観察	・授業への参加状況 ・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点		100 点	100 点	100 点
2回	3単元 生涯を通じる健康 結婚生活と健康 働くことと健康 健康的な職業生活	中高年期と健康 労働災害と健康	・定期考査 ・授業中の行動観察	・定期考査 ・授業中の行動観察	・授業への参加状況 ・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点		100 点	100 点	100 点
3回	4単元 健康を支える環境づくり 大気汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備 食品衛生にかかわる活動	水質汚濁・土壌汚染と健康 食品の安全性	・定期考査 ・授業中の行動観察	・定期考査 ・授業中の行動観察	・授業への参加状況 ・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点		100 点	100 点	100 点
4回	4単元 健康を支える環境づくり 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用 様々な保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加		・定期考査 ・授業中の行動観察	・定期考査 ・授業中の行動観察	・授業への参加状況 ・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点		100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	3単元 生涯を通じる健康 01 ライフステージと健康 02 思春期と健康	10	
	5	03 性意識と性行動の選択 04 妊娠・出産と健康		
	6	05 避妊法と人工妊娠中絶 第1回考査		
	7	3単元 生涯を通じる健康 06 結婚生活と健康 07 中高年期と健康		8
	8	08 働くことと健康 09 労働災害と健康 10 健康的な職業生活		
	9	第2回考査		
	後期	10	4単元 健康を支える環境づくり 01 大気汚染と健康 02 水質汚濁・土壌汚染と健康	7
		11	03 環境と健康にかかわる対策 04 ごみの処理と上下水道の整備 05 食品の安全性	
		12	06 食品衛生にかかわる活動 第3回考査	
1		4単元 健康を支える環境づくり 07 保健サービスとその活用 08 医療サービスとその活用	10	
2		09 医薬品の制度とその活用 10 様々な保健活動や社会的対策		
3		11 健康に関する環境づくりと社会参加 第4回考査		

5 その他

「保健」という科目は、「健康を保つ」ことを学ぶ授業で、毎週1時間行われます。健康問題がテレビや新聞等で大きく取り扱われる現状の中で、正しい情報を取り入れ適切な生活行動を選択できるようになることが求められています。「保健」では、自分や家族の健康を保持増進するための基本的な事項を理解するだけでなく、日常生活の中の課題を見つけ出し解決の方法を導き出すことができるような授業を展開します。日常生活において、空気と同じようにあって当然、なくなると困るもの、それが健康です。毎日の生活の中で「体の健康」「心の健康」に目を向けましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	構成	単位数	3単位
		学年等	2年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	教科書 高校生の美術1(日本文教出版) 副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社)、実技用具等

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	・立体造形演習	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
2回	・美術史 ・静物卓上	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
3回	・プロダクトデザイン(構想・制作)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
4回	・プロダクトデザイン(制作・発表)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数		
前期	4	① 【立体造形演習】 ・粘土や木材など素材の性質を理解し、意図に応じて効果的に表現する。 ・立体造形における造形の美しさについて考える。 第1回考査	30		
	5				
	6				
	7			② 【美術史(鑑賞)】 ・古代～近代までの美術の歴史を学び、理解する。 第2回考査	24
	8				
	9				
	後期	10	④ 【プロダクトデザイン(構想・制作)】 ・デザインの構想の手立てについて学ぶ。 ・社会とデザインの関わりや課題について考え、主題を生成する。 ・アプリケーションを用いたデザイン制作の手立てを学ぶ。 第3回考査	21	
		11			
		12			
1		⑤ 【プロダクトデザイン(制作・発表)】 ・社会とデザインの関わりや課題について考え、主題を生成する。 ・アプリケーションを用いたデザイン制作の手立てを学ぶ。 ・プレゼンテーションボードの制作や発表の基礎を学ぶ。 第4回考査	30		
2					
3					

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。
- 考査ごとに鑑賞レポート提出を求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	素描	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社)、実技用具等</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	・素描(石膏像)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
2回	・素描(自画像)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
3回	・透明水彩画	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
4回	・テーマ制作	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	③ 【素描(石膏像)】 ・石膏素描の基礎と描画材(鉛筆・木炭)の特性について学ぶ。 ・形の取り方、光源を意識した陰影表現を学ぶ。 ・石膏像の量感を意識した細部の描写方法を学ぶ。 第1回考査	20
	5		
	6		
	7	④ 【素描(自画像)】 ・自画像を描く際の構図について学ぶ。 ・表現の意図に応じて鉛筆の表現を工夫し、創造的に表現する。 第2回考査	16
	8		
	9		
後期	10	③ 【透明水彩画】 ・身近な建築物や自然から構造や色彩の美しさを見取り、画面構成の手立てについて学ぶ。 ・透明水彩絵の具の特性を生かし、創造的に表現する。 第3回考査	14
	11		
	12		
	1	④ 【テーマ制作】 ・多様な表現技法・描画材を活用したテーマ制作を通し、個性を活かした作品制作を学ぶ。 ・テーマに応じた表現活動の研究と創造的な表現の工夫について学ぶ。 第4回考査	20
	2		
	3		

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。
- 考査ごとに鑑賞レポート提出を求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術創造	単位数	4単位
		学年等	2年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具等</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	・オペラのフライヤー制作 ・名前の書体確認と練習 ・仮名の書の学習	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点	50点	50点	50点
2回	・仮名の書による作品制作 ・CDジャケット制作	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート ・課題レポート
	評価点	50点	50点	50点
3回	・絵画表現(印象派・近現代の楽曲) ・篆刻	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点	50点	50点	50点
4回	・勘亭流様式の学習 ・歌唱教材を基にしたミュージックビデオ制作	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	①【オペラのフライヤー制作】 ・オペラを鑑賞し内容を理解する。 ・オペラの内容を捉え、読み手に伝わるデザインを構想する。	20
	5		
	6	②【名前の書体確認と練習】名前の各書体を書道字典で確認し、修練する。	20
			第1回考査
	7	③【仮名の書の学習】成立、いろは単体、変体仮名、連綿、紙面構成	16
	8		
	9	④【CDジャケット制作】 ・組曲を鑑賞し、それぞれの楽曲の特徴を理解する。 ・一連の楽曲を表現したCDジャケットを制作する。	16
			第2回考査
	後期	10	⑤【絵画表現】 ・印象派・近現代の作曲家による楽曲を鑑賞する。 ・印象派・近現代の絵画表現を用いて、楽曲がもつイメージを表現する。
11		⑥【篆刻】篆書を学習し、落款の制作をする ・篆書について学習する ・落款について学習する ・朱文と白文について ・落款の制作	14
12			
			第3回考査
1		⑦【勘亭流様式の学習】 ・勘亭流 江戸文字、寄席文字等のそれぞれがもつ特徴について理解する	20
2		⑧【歌唱教材を基にしたミュージックビデオ制作】 ・共通歌唱教材7曲を鑑賞し、制作したい曲を決める。 ・楽曲の持つ雰囲気や歌詞の意味を踏まえ、ミュージックビデオを制作する。	20
3			
		第4回考査	

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる発想力や表現力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3単位
		学年等	2年生普通科普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用し、以下の項目に到達する。</p> <p>1 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>2 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>3 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。</p> <p>4 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</p> <p>5 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</p>
使用教科書 副教材等	教科書 ELEMENT ENGLISH COMMUNICATION II (啓林館)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の理解を深めるとともに、外国語の知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる技能を身に付けている。	日常的话题や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	Unit 1 Unit 2	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点
2回	Unit 3 Unit 4	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点
3回	Unit 5 Unit 6	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点
4回	Unit 7 Unit 8	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	Unit 1 Cultures around the World ・形式目的語の it ・異文化理解	13
	5	Unit 2 Power of Words ・複合関係代名詞 ・自分の考えを即興で伝える技能	14
	6		
	7	パフォーマンステスト① ◆-----第1回考査	3
	8	Unit 3 Preconception ・付帯状況の with ・自分の体験や経験を基に、情報を伝える	10
	9	Unit 4 The century of War ・分詞構文 ・事実や意見を適切な表現を使い説明する技能	11
		パフォーマンステスト② ◆-----第2回考査	3
	10	Unit 5 How Our Minds Work ・強調構文 ・利点と欠点をふまえて自分の意見を書くための適切な方法	9
	11	Unit 6 IT and Life ・倒置 ・アンケートなどの分析結果を伝えるための表現や方法	9
12			
後期		パフォーマンステスト③ ◆-----第3回考査	3
	1	Unit 7 Advances in Medical Technology ・未来進行形 ・相手の意見に応じるための適切な表現や方法	13
	2	Unit 8 A Tiny Step, a Big Impact ・複合関係副詞 ・事実と意見を分けて伝えるための適切な表現や方法	14
	3		
		パフォーマンステスト④ ◆-----第4回考査	3

5 その他

- 小テスト・課題等で知識・技能を高めていきます。
- Unit ごとにワークシートに取り組むことで、知識・技能を活用する力を養います。
- パフォーマンステストは、「聞く」・「読む」・「話す[やり取り・発表]」・「書く」ことのいずれかについて実施します。詳細は別途連絡します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3単位
		学年等	2年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用し、以下の項目に到達する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
使用教科書 副教材等	教科書 ELEMENT ENGLISH COMMUNICATION II (啓林館)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の理解を深めるとともに、外国語の知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる技能を身に付けている。	日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	Unit 1 Unit 2	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点
2回	Unit 3 Unit 4	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点
3回	Unit 5 Unit 6	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点
4回	Unit 7 Unit 8	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	Unit 1 Cultures around the World ・形式目的語の it ・異文化理解	13
	5	Unit 2 Power of Words ・複合関係代名詞 ・自分の考えを即興で伝える技能	14
	6		
	7	パフォーマンステスト① ◆-----第1回考査	3
	8	Unit 3 Preconception ・付帯状況の with ・自分の体験や経験を基に、情報を伝える	10
	9	Unit 4 The century of War ・分詞構文 ・事実や意見を適切な表現を使い説明する技能	11
		パフォーマンステスト② ◆-----第2回考査	3
	10	Unit 5 How Our Minds Work ・強調構文 ・利点と欠点をふまえて自分の意見を書くための適切な方法	9
	11	Unit 6 IT and Life ・倒置 ・アンケートなどの分析結果を伝えるための表現や方法	9
12			
後期		パフォーマンステスト③ ◆-----第3回考査	3
	1	Unit 7 Advances in Medical Technology ・未来進行形 ・相手の意見に応じるための適切な表現や方法	13
	2	Unit 8 A Tiny Step, a Big Impact ・複合関係副詞 ・事実と意見を分けて伝えるための適切な表現や方法	14
	3		
		パフォーマンステスト④ ◆-----第4回考査	3

5 その他

- 小テスト・課題等で知識・技能を高めていきます。
- Unit ごとにワークシートに取り組むことで、知識・技能を活用する力を養います。
- パフォーマンステストは、「聞く」・「読む」・「話す[やり取り・発表]」・「書く」ことのいずれかについて実施します。詳細は別途連絡します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。
使用教科書 副教材等	教科書 be English Logic and Expression SmartⅡ (いいずな書店) 副教材 総合英語 be 4 th Edition(いいずな書店) 総合英語 be 4 th Edition English Grammar 46(いいずな書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	Lesson 1～4 スクリプトライティング	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点
2回	Lesson 5～8 スピーチ	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点
3回	Lesson 9～11 プレゼンテーション	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点
4回	Lesson 12～15 ディスカッション・ディベート	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	Lesson 1 Lesson 2	18	
	5	Lesson 3 Lesson 4		
	6	パフォーマンステスト(与えられた状況に合うスクリプトを書く)		2
		第1回考査		
	7	◆-----		
	8	Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8	14	
	9	パフォーマンステスト(基本的な構成方法を意識しつつ原稿を作成し、「伝わるスピーチ」をする)	2	
		第2回考査		
		◆-----		
後期	10	Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11	12	
	11	パフォーマンステスト(「相手に伝わる」ことを意識し、ビジュアル資料を活用する)	2	
	12	第3回考査		
		◆-----		
	1	Lesson 12 Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15	16	
	2	パフォーマンステスト ディベート:ディベート形式や基本的なルールを理解する。		
	3	肯定と否定の立場で意見を述べる ディスカッション:・意見を出し合ったり、情報を交換し合ったりする表現方法 議論の態度を理解する	4	
		第4回考査		
		◆-----		

5 その他

- 小テスト・課題等で知識・技能を高めていきます。
- 副教材を使用して、Lesson ごとに「書く」技能を高める活動を行います。
- パフォーマンステストは、「話す[やり取り・発表]」、「書く」のいずれかについて実施します。詳細は別途連絡します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	2年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。
使用教科書 副教材等	教科書 be English Logic and Expression SmartⅡ (いっずな書店) 副教材 総合英語 be 4 th Edition(いっずな書店) 総合英語 be 4 th Edition English Grammar 46(いっずな書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既知の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	Lesson 1～4 スクリプトライティング	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点
2回	Lesson 5～8 スピーチ	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点
3回	Lesson 9～11 プレゼンテーション	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点
4回	Lesson 12～15 ディスカッション・ディベート	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習課題等 ・ワークシート等 ・パフォーマンステスト
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	Lesson 1 Lesson 2	18	
	5	Lesson 3 Lesson 4		
	6	パフォーマンステスト(与えられた状況に合うスクリプトを書く)		2
		第1回考査		
	7	◆-----		
	8	Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8	14	
	9	パフォーマンステスト(基本的な構成方法を意識しつつ原稿を作成し、「伝わるスピーチ」をする)	2	
		第2回考査		
		◆-----		
後期	10	Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11	12	
	11	パフォーマンステスト(「相手に伝わる」ことを意識し、ビジュアル資料を活用する)	2	
	12	第3回考査		
		◆-----		
	1	Lesson 12 Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15	16	
	2	パフォーマンステスト ディベート:ディベート形式や基本的なルールを理解する。		
	3	肯定と否定の立場で意見を述べる ディスカッション:・意見を出し合ったり、情報を交換し合ったりする表現方法 議論の態度を理解する	4	
		第4回考査		
		◆-----		

5 その他

- 小テスト・課題等で知識・技能を高めていきます。
- 副教材を使用して、Lesson ごとに「書く」技能を高める活動を行います。
- パフォーマンステストは、「話す[やり取り・発表]」、「書く」のいずれかについて実施します。詳細は別途連絡します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	情報 I	単位数	2単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 情報 I Step Forward!(東京書籍)</p> <p>副教材 進研 WINSTEP 情報 I (ベネッセコーポレーション)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し、改善しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	1章 情報社会 2章 情報デザイン	・定期考査等 ・学習課題	・定期考査等 ・学習課題	・学習課題 ・授業への取り組み
	評価点	50点	50点	50点
2回	3章 プログラミング	・制作物等 ・学習課題	・制作物等 ・学習課題	・学習課題 ・授業への取り組み
	評価点	50点	50点	50点
3回	4章 ネットワークの活用 2章 情報デザイン	・定期考査等 ・学習課題	・定期考査等 ・制作物等 ・学習課題	・学習課題 ・授業への取り組み
	評価点	50点	50点	50点
4回	2章 情報デザイン 3章 プログラミング 4章 ネットワークの活用	・レポート課題等	・レポート課題等 ・制作物等	・学習課題 ・授業への取り組み
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	1章 情報社会 01 情報とその特性 ~ 11 情報技術が社会に与える光と影	20
	5	2章 情報デザイン	
	6	12 コミュニケーションとデザイン ~ 22 ネットコミュニケーションの特徴 第1回考査	
	7	◆-----	
	8	3章 プログラミング 27 コンピュータの構成 ~ 35 プログラミング応用 制作物 プログラム	16
後期	9	◆-----	14
	10	4章 ネットワークの活用 40 ネットワークとインターネット ~ 48 データの管理	
	11	2章 情報デザイン 23 情報デザイン ~ 26 コンテンツ設計 第3回考査	
	12	◆-----	
	1	2章 情報デザイン	20
	2	23 情報デザイン ~ 26 コンテンツ設計 3章 プログラミング 36 モデル化 ~ 39 シミュレーションの活用	
	3	4章 ネットワークの活用 49 データの収集と種類 ~ 52 2つのデータの関係 制作物 レポート課題 コンテンツ制作	
		◆-----	

5 その他

- 実習や制作を通し、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育成します。
- 授業ではコンピュータ室の PC に加えタブレット等の BYOD 端末を利用します。